

## 令和3年度成果報告 建設環境課総括

### 1. 建設関係

令和3年5月21日、8月13～15日の局地的豪雨により、国道19号の雨量規制区間において2回にわたり全面通行止め、補完道路となる中津川南木曾線、中津川田立線においても土砂流出により一時通行止めとなるなど、幹線道路交通網が分断され、田立地区において一時孤立状態となった。また、羅天においても土砂流出により一時的に通行止めとなったが、令和2年12月6日に開通した右岸道路川向工区が迂回道路としてその機能を発揮した。

さらに、大雪の影響により1月13～14日、2月14～16にかけて国道19号は全面通行止めによる除雪作業が行われた。町道においても、融雪剤の散布、業者対応による除雪作業と多大な労力と費用を費やした。自然災害に対する対応に追われた1年となり、道路・河川等の整備がさらに必要であると痛感した。

また、リニア中央新幹線計画に伴う関連工事として、令和2年8月から実施された町道棚橋線改良工事が令和3年7月27日に完成した。

新たな地域再生計画「歴史とひのきの薫る里づくり計画」を策定し(道整備交付金)高瀬橋架設を中心とした令和3年から7年までの5か年計画が実施されることとなった。

#### (町道関係主なもの)

- ・額付環状線(尾越)、川向下線(川向)の舗装補修工事を実施した。
- ・大原線(上の原)の道路改良に伴う測量設計を実施した。
- ・岩倉橋補修工事、桃介橋補修工事を実施した。
- ・除雪対策事業は、大雪の影響で40,000千円と当初予算の2倍となった。

#### (町道関係令和2年度繰越事業)

- ・与川線防災工事を実施した。
- ・橋梁点検45橋を実施した。
- ・坂の下線、長者畑線、蘭線 設計3本を実施した。

#### (町河川関係)

- ・県森林税による県単河畔林整備事業を長根沢(塚野地区)で実施した。

#### (災害復旧事業)

- ・5月21日豪雨災害(24箇所)、8月13～15日豪雨災害(13箇所)、2回被災し、総計37箇所 総額42,610千円となった。

#### (国 関係)

- ・多治見砂防による直轄砂防事業では、2箇所の工事(和合蛇抜沢、桂川)、3箇所の詳細設計(地藏沢、砂地沢、与川)、4箇所の調査測量が行われた。

#### (県 関係)

- ・木曾川右岸道路整備事業は、県代行事業として新高瀬橋架設に向けた、調査

測量設計が発注された。

- ・(主)中津川田立線は、道路築造工事、大滝川橋梁の下部工事等が実施された。
- ・(主)中津川南木曾線は、滝上工区で道路築造工事が実施された。

(リニア中央新幹線工事 関係)

- ・町道棚橋線改良工事(広瀬工区)が7月末に完成し、供用開始となった。
- ・町道十二兼線(発生土候補地)の踏切改良、道路改良にむけた測量設計、用地買収が開始された。

## 2. 住宅関係

- ・単身用ユアイ住宅住吉団地1棟4戸を建設した。
- ・公営住宅和合団地2棟6戸の外壁塗装工事を実施した。
- ・町営住宅和合南団地2棟4戸の改修工事を実施した。
- ・住宅リフォーム補助金を9戸に交付した。

## 3. 宅造関係

- ・天白住宅団地1区画を分譲募集したが応募はなかった。

## 4. 環境衛生関係

- ・ごみ処理関係では、可燃ごみが前年度より53.8tの減少、生ごみが前年度より1.8tの増加、不燃ごみが9.3tの減少となった。また、資源ごみの回収は11.6tの減少となった。
- ・環境美化活動では、衛生自治会と連携し町内一斉清掃を実施した。また、ポイ捨て防止監視パトロールを実施した。
- ・令和2年度からの繰越事業として、胡桃田水道取水施設設置工事を実施した。

## 5. 公営企業会計

### ○南木曾町簡易水道事業会計

- ・令和3年度から、地方公営企業法を適用し、複式簿記により会計処理を行う公営会計に移行した。
- ・リニア中央新幹線工事に伴う水道水源対策として予備的措置についてJRとの協議により、措置に係る設計業務の委託による詳細設計に入った。
- ・8月豪雨による大山高区水源災害復旧として、応急仮工事を実施した。
- ・田立中区浄水場急速ろ過池制御弁更新工事を実施した。
- ・田立中区浄水場No.2ろ過排水弁更新工事を実施した。
- ・三留野浄水場後次重注入ユニット更新工事を実施した。
- ・大山高区棚橋減圧弁更新工事を実施した。

○南木曾町特定環境保全公共下水道事業会計

- ・令和3年度から、地方公営企業法を適用し、複式簿記により会計処理を行う公営会計に移行した。
- ・公共マス設置工事（妻籠交流センター）を実施した。
- ・妻籠クリーンセンターNo.1.2 汚水ポンプ逆止弁交換工事を実施した。
- ・妻籠クリーンセンターNo.1.2 空気圧縮機修繕工事を実施した。
- ・マンホールカード発行への参画により 1,303 枚の配布を行った。

○南木曾町農業集落排水事業会計

- ・令和3年度から、地方公営企業法を適用し、複式簿記により会計処理を行う公営会計に移行した。
- ・公共マス設置工事（事業所・個人）を実施した。
- ・蘭浄化センター回分槽No.2 流入電動弁更新工事を実施した。
- ・蘭浄化センター回分槽No.1 水位計及び変換器交換修繕工事を実施した。
- ・通報装置改修工事を実施した。

○南木曾町浄化槽市町村整備推進事業会計

- ・令和3年度から、地方公営企業法を適用し、複式簿記により会計処理を行う公営会計に移行した。
- ・浄化槽市町村整備推進事業により浄化槽9基を整備した。（町整備分547基）
- ・今年度、寄付による町管理型への移管は8基。（町への移管分271基）

【評価】

- ・木曾川右岸道路事業として、一般県道上松南木曾線（読書ダム～戸場）区間の早期完成、新高瀬橋の架設（県代行事業）、川向地区から田立方面へのルート確定に向けて引き続き県・関係機関への要望・働きかけが重要である。
- ・国道19号は国交省により神戸視距改良事業の早期完成、雨量規制区間（吾妻橋から岐阜県坂下までの6.5km）の解消および、長野・岐阜県境部における道路改良調査、検討に向けた要望の継続が必要である。
- ・国土強靱化事業は3箇年（平成30年度～令和2年度）緊急対策として町道与川線防災工事を繰越事業として実施し、町道長者畑線防災工事については令和4年度へ繰越事業として実施を予定している。
- ・リニア中央新幹線事業に伴いJR東海により広瀬口側の町道棚橋線拡幅工事、尾越口側の町道起線への待避所設置などが行われ、リニア工事に係る地域住民に対する交通への支障の解消が行われているが、今後も引き続き地域と連携し要望を行っていく。水道水源の予備的措置について関係課とともにJRと協議を行い、影響が懸念される簡易水道の3水源の水量確保などの予備的措置の詳細設計を委託し、令和4年度から令和5年度の2か年で町において工事の実施を行い、水枯れ等に

よる住民への影響を解消する。

- ・ 単身向け住宅として、住吉町にユーアイ住宅を4戸建設し、町外からの町内就業者への対応を図ることができた。
- ・ 宅地造成事業は、天白住宅団地1区画の募集を行うとともに、購入希望者のニーズに合った小規模宅地造成事業の計画が必要である。
- ・ 小規模水道は各水道組合の現状をよく把握しながら将来の施設維持管理の在り方について協議・検討が必要である。
- ・ 公営企業会計4会計（簡易水道・特環下水道・農業集落排水事業・浄化槽市町村整備事業）について、適正な会計管理に努めながら財務・事業内容の健全化を常に意識した事業運営を行う必要がある。

## 8 建設環境課所管

### 1. 建設関係

#### (1) 道路関係

##### ①町道

町道については、実施計画に基づき道路改良等の事業を実施したほか、道路メンテナンス事業補助を活用し橋梁点検・補修を実施した。

道路維持補修については、各地域からの要望を中心に緊急性の高いものから順次実施し、可能な限り対応している状況である。

令和3～7年度の5か年間の地域再生計画「歴史とひのきの薫る里づくり計画」(道整備交付金)に基づき、町道川向椰野線：高瀬橋架替(県代行事業)を中心とした事業を推進した。

道路維持補修事業	21,529千円	(台帳整備含む)
道路舗装事業	8,150千円	
道路改良事業	16,639千円	
除雪対策事業	45,033千円	
県営工事付帯事業	4,535千円	
橋梁維持補修事業	59,524千円	
河川整備事業	2,521千円	
3年度事業費計	157,931千円	(明細別紙参照)
3年災害復旧費	42,610千円	(明細別紙参照)
2年度繰越事業	123,017千円	(明細別紙参照)

##### 現年度事業

- ・道路維持補修工事49箇所を行った。
- ・道路新設改良工事では、妻籠町上連絡線及び十二兼線の用地買収、大原線の測量設計・用地買収、及び与川線の概略設計を実施した。
- ・舗装工事では、額付環状線L=287.2m(R256号～蘭線交差点)・川向下線L=130.8m(南木曾発条P～(有)ミツイシ)の舗装補修工事を実施した。
- ・橋梁維持修繕工事では、岩倉橋補修工事L=20.4m、桃介橋補修工事橋脚表面含浸工を実施した。
- ・除雪対策事業は、昨年度以上の大雪の影響で除雪費用が当初予算の倍増となった。また、凍結が厳しく、融雪剤配布は昨年度の600袋から1,200袋と倍増となった。路面凍結が激しかった。融雪剤散布車による予防に力を入れた。
- ・5月21日豪雨では24箇所、8月13～15豪雨では13箇所の被災を受けた。これにより、町道富貴畑線と町道中山道が全面通行止めとなったため、生活、観光に多くの支障が生じた。

##### 繰越事業

- ・上の原線舗装工事、棚橋線改良工事、与川線防災工事を実施した。
- ・橋梁維持事業では、橋梁点検45橋を実施した。
- ・坂の下線、長者畑線、蘭線の測量設計を実施した。

##### ②国道

###### 【一般国道19号】

神戸視距改良工事、十二兼地区歩道拡幅工事及び舗装工事、渡島跨線橋の橋梁修繕工事が実施された。

【一般国道 256 号】

道路改良（漆畑拡幅）、災害防除緊急対策事業（橋場 3 号）、国補土砂災害対策事業（木戸沢橋上）等が実施された。

③県 道

【主要地方道 中津川南木曾線（馬籠峠～下り谷拡幅）】

道路築造工が実施された。

【主要地方道 中津川田立線】

道路築造工、大滝川橋梁（橋梁下部工事）が実施された。

【一般県道 上松南木曾線（読書ダム～戸場）】

道路詳細設計、橋梁・交差点詳細設計、トンネル詳細設計、用地買収、物件補償が実施された。

【県代行 木曾川右岸道路（町道川向椰野線）】

新高瀬橋の架設に向けた測量設計、地質調査が実施された。

【一般県道南木曾停車場線（大沢田橋）】

歩道橋設置のための測量設計が実施された。

(2) 砂防・河川・災害関係

①町単河川改修事業

【準用河川改修】

県単河畔林整備事業を長根沢（塚野地区）の支障木伐採を実施した。河川内と民地を一体的に整備し、倒木による栓塞の危険箇所を解消した。

大沢田沢（東町地区）及び蛇抜沢（和合地区）の支障木伐採を実施した。

ささら沢（与川 1 区）、下の沢（元組）の堆積土撤去を実施した。

3 年度事業費 2,521 千円 (明細別紙参照)

②直轄砂防事業

【砂防事業】……………本体工事

事業概要 和合蛇抜沢沈砂池工、桂川第 1 砂防堰堤取付道路工

【砂防調査】……………地質調査・測量・詳細設計ほか

事業概要 地蔵沢第 1・砂地沢・与川第 1・小梨子沢流路工・戦沢・熊の沢、神戸第 1

③県砂防・河川事業

・長野県より木曾圏域河川整備計画の計画案について、公聴会が 1 月に実施された。（コロナのため書面による意見収集）今後の木曾川の河川整備計画が示された。

【緊急浚渫事業】……………木曾川の除石・支障木伐採が実施された。（南木曾中学校横、高瀬橋上）

【河川維持事業】……………与川 1 区（向田橋上流）の支障木伐採が実施された。

【木曾川治水対策】……………河川整備計画が未策定となっている木曾川に早期計画策定を定めること、既存ダムを活用した事前放流や流域治水への取り組みなどについて、木曾郡町村会を通じて長野県建設部、国交省水管理保全局、中部地方整備局、木曾川上流事務所等へ要望を繰り返し実施した。

(3) 負担金関係等

期成同盟会、団体に対して負担金を支出し、事業促進のため要望活動を行った。

(明細別紙参照)

【国道 256 号改良促進期成同盟会】

飯田市・阿智村・南木曾町の 3 市町村で構成し、要望活動を行った。(事務局：南木曾町)

- ・令和 3 年 11 月 16～17 日 関東地方整備局、衆参議員、国土交通省、財務省へ要望活動
- ・令和 3 年 12 月 20 日 長野県へ要望活動

【中津川南木曾県際道路改良促進協議会】

中津川市・南木曾町 2 市町で構成し、要望活動等を行った。(事務局：南木曾町)

- ・令和 3 年 9 月 13 日 飯田国道事務所、多治見砂防国道事務所へ要望活動  
(雨量規制区間の解除に向けた整備を要望した。)
- ・令和 3 年 12 月 21 日 長野県へ要望活動
- ・令和 4 年 1 月 28 日 岐阜県へ郵送による要望活動

【木曾南部直轄砂防推進協議会】

上松町・南木曾町・大桑村の 3 町村で構成し、要望活動等を行った。(事務局：大桑村)

【主要地方道飯田南木曾線改良促進期成同盟会】

飯田市、南木曾町で同盟会を結成し、要望活動等を行った。(事務局：飯田市)

【木曾南部木曾川右岸道路整備促進期成同盟会】

上松町・南木曾町・大桑村の 3 町村で構成し、要望活動等を行った。(事務局：大桑村)

【木曾地域国道 19 号整備促進期成同盟会】

郡内 6 町村と塩尻市で構成し、改良促進を中心に要望活動を行った。(事務局：木曾広域連合)

(4) 町道台帳整備

	4年3月末	3年3月末	増減
道路実延長 ( m )	164, 551	164, 525	26
改良済延長 ( m )	98, 823	98, 796	27
舗装済延長 ( m )	118, 796	118, 770	26
自動車通行不能道延長 ( m )	39, 875	39, 875	0
橋梁数 (箇所)	209	209	0
うち永久橋 (箇所)	163	163	0

(5) 諸申請手続き

- ① 河川法申請関係 22 件
- ② 町道自営工事申請 2 件
- ③ 町道使用申請 81 件
- ④ 砂防法申請関係 2 件
- ⑤ 急傾斜地法申請関係 1 件
- ⑥ 国道・県道通行制限通知 77 件

(6) リニア関連工事

町道棚橋線道路拡幅工事

工事期間 令和2年8月20日～令和3年7月31日(竣工検査 令和3年7月27日)  
施工概要 設計延長 L=199.8m、幅員 W=6.5m(0.5+2.75+2.75+0.5)  
軽量盛土ブロック L=147.7m  
水路延長 L=224m (自由勾配側溝300L=202.3m、台付管L=21.7m)  
モルタル吹付工 A=96 m<sup>2</sup>

町道起線道路自営工事

工事期間 令和3年3月15日～令和3年8月31日  
施工概要 鉄板敷 L=329m 待避所 6箇所

町道十二兼線道路改良工事・踏切改良工事

用地買収 3名

令和3年度建設関係主要事業

道路維持補修事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
町道補修	町内一円	町道補修49箇所	9,930						9,930	
町道補修(地元施工含む)	町内一円	原材料(舗装補修材等)	180						180	
調査委託	富貴畑線 妻籠町上連絡線	FWD調査 分筆図作成	781						781	
環境整備委託	富貴畑線	町道整備	99						99	
土木小規模補修	町内一円	ポットホール	4,623						4,623	
防護柵設置工事	与川	工事	990						990	
町道舗装修繕工事	上の原線 下山線	工事	1,155						1,155	
区画線設置工事	町内一円		1,100						1,100	
道路愛護作業補助金	町内一円 45地区	道路愛護作業	1,049						1,049	
その他		重機使用料、消耗品費	78						78	
合計			19,985						19,985	

道路橋梁一般事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内 訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
道路台帳整備事業	町内一円	道路台帳補正、 附属物点検業務、	1,518					1,518	
看板購入費		通行注意看板	26					26	
合 計			1,544					1,544	

道路舗装事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内 訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
額付環状線舗装 (7辺地)	蘭	工事I=287.2m、監理	5,450			5,400		50	
川向下線舗装 (過疎)	天白	工事I=130.8m、監理	2,700			2,700			
合 計			8,150			8,100		50	

道路新設改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
町道妻籠町上連絡線開設	妻籠	用地取得、立木補償 物件補償	3,533			3,500		33	
十二兼線道路改良 (踏切改良)	十二兼	用地取得	1,838					1,838	
神戸団地下線開設	神戸	水道補償	465					465	
合計			5,836			3,500		2,336	

補助道路新設改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
町道大原線道路改良	上の原	調査設計・監理 用地取得	8,654	4,284		4,200		170	道整備交付金 過疎債
与川線概略設計	与川	測量設計	1,925					1,925	
合計			10,803	4,284		4,200		2,319	

県営付帯事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
大原苗圃整備	上の原	側溝整備	1,092					1,092	
神戸地区水道管敷設 消火栓設置	神戸	L=110m 消火栓1基	3,407					3,407	
その他		関係機関協議旅費	36					36	
合計			4,535					4,535	

除雪対策事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
融雪剤・砂配布業務	町内一円		1,001					1,001	
町道除雪作業委託料		与川3区 下り谷 橋場 本谷	119					119	
凍結防止剤等購入代	町内一円 200箇所	塩化カルシウム 25kg 1200袋	1,997					1,997	
融雪剤散布業務	町内		998					998	
町道雪害支障木伐採など	町内一円 6箇所	支障木伐採	1,270					1,270	
町道除雪業務重機使用料 (年間管理料)	町内一円 159路線	町内業者10社委託 重機使用料	39,549	468				39,081	社会資本整備 交付金
町道滑り止め用砂購入代	町内一円 63箇所	砂配布	99					99	
合計			45,033	468				44,565	

※路線数は、委託契約業者ごとの契約路線数の合計数。(1路線で雪寒路線、通常路線ある場合は2路線として計上、同一路線を複数事業者契約の場合も2路線で計上。)

## 河川整備事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
大沢田沢、蛇抜沢 ささら沢河川整備工事 下の沢補修工事	大沢田沢以下 4箇所	支障木伐採、堆積土撤去	1,487				1,487		
長根川河畔林整備工事	長根川	河畔林伐採	1,034		900		134	県土木費補助金	
合計			2,521		900		1,621		

## 橋梁維持経費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
橋梁補修事業	岩倉橋	工事 監理工L=20.4m ゴム支承取り替え	42,832	18,183		24,400	249	(国庫支出金) 道路メンテナンス 事業補助 過疎債	
	桃介橋	工事 監理 橋脚表面合浸工	16,692		16,500		192	過疎債	
合計			59,524	18,183		40,900	441		

道路災害復旧事業（現年災害 町単）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
災害時消耗品		カラコーン 土のう ボール	95					95	
道路災害復旧事業（5月21日 豪雨）									
道路災害復旧修繕工事	与川7箇所 北部1箇所 三留野5箇所 妻籠4箇所 蘭1箇所 田立6箇所	流出土撤去、 法面整形 応急対応 復旧工事費・監理	7,380					7,380	
道路災害復旧事業（8月14日 豪雨）									
道路災害復旧修繕工事	三留野2箇所 妻籠3箇所 広瀬6箇所	流出土撤去、 法面整形 応急対応 復旧工事費・監理	6,416					6,416	
合計			13,891					13,891	

災害復旧事業（現年度災害 国庫）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	内 訳 その他 一般財源	
道路災害復旧事業								
富貴畑線災害復旧	広瀬	測量設計	2,306			1,900	406	
		工事 監理 L=18.4m	8,820	5,882	2,900	38		
		物件補償	806			806		
中山道災害復旧	妻籠	測量設計	6,292				6,292	
		工事 監理 L=27.7m	10,000	6,670	3,300	30		
尾又橋災害復旧	妻籠	測量	495				495	
合計			28,719	12,552	8,100	8,067		

道路舗装事業（令和2年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	内 訳 その他 一般財源	
上の原線舗装修繕 (過疎)	与川	工事・監理 L=140.0m	9,000	4,870	3,600	530	防災安全 交付金	
合計			9,000	4,870	3,600	530		

県営付帯事業（令和2年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
柵橋線道路改良	広瀬	照査設計 引継ぎ検査	4,000				4,000	一般財源	リニア建設 対策負担金
合計			4,000				4,000		

橋梁維持経費（令和2年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
橋梁定期点検	町内一円	点検45橋	15,601	9,405				一般財源	道路メンテナンス 補助金
合計			15,601	9,405			6,196		

国土強靱化事業（令和2年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
与川線防災	与川	工事 監理 L=100.0m	74,412	40,770	32,700			942	
坂の下線改良	坂の下	詳細設計 監理	4,809	2,714	2,000			95	防災安全 交付金 補正予算債
長者畑線防災	広瀬	測量設計 監理	11,186	6,307	4,300			579	
蘭線道路改良	蘭	用地測量 監理	4,009	2,230	1,700			79	
合計			94,416	52,021	40,700			1,695	

令和3年度負担金関係

同盟会及び協会事業負担金等（土木総務費）

単位：円

負担金名称	金額	事業主体
256号改良促進 期成同盟会負担金	200,000	同盟会（事務局 南木曾町）
木曾南部直轄砂防 推進協議会負担金	145,800	推進協議会（事務局 大桑村）
県河川協会負担金	10,000	河川協会（事務局 県河川課）
全国治水砂防協会負担金	25,000	全国治水砂防協会・長野県治水砂防協会 （事務局 県砂防課9）
県道路整備期成 同盟会負担金	113,500	同盟会（事務局 県道路管理課）
中津川南木曾県際道路 改良促進協議会負担金	0	同盟会（事務局 南木曾町）
飯田南木曾線改良促進 期成同盟会負担金	20,000	同盟会（事務局 飯田市）
中津川田立線改良 促進期成同盟会補助金	40,000	地元同盟会
長野県地区用地対策 連絡協議会負担金	3,000	
木曾南部木曾川右岸道路 整備促進期成同盟会	50,000	同盟会（事務局 大桑村）
木曾地域交通網対策協議会	0	木曾広域連合
長野県南部国道連絡協議会	0	南信州広域連合
中部国道連絡協議会	0	静岡県
合計	607,300	

## 2. 住宅関係

### (1) 町営住宅管理状況

\* 住宅及び入居者の状況

R4. 3. 31 現在

	管理戸数	年度当初入居戸数	年度中入居戸数	年度中退去戸数	年度末入居戸数	年度末空家戸数	除却予定空家戸数
公営住宅	68	61	4	7	58	2	8
特定公共賃貸住宅	16	16	2	5	13	3	0
地域優良賃貸住宅	6	6	0	0	6	0	0
町営単独住宅	21	17	2	2	17	2	2
ユーアイ住宅	46	41	8	6	43	3	0
合計	157	141	16	20	137	10	10

◎教育委員会管理

教職員住宅	30	23	7	6	24	6	0
-------	----	----	---	---	----	---	---

\* 家賃徴収の状況

		家賃調定額	家賃徴収済額	不納欠損額	未徴収額	家賃徴収率
使用料	(公営住宅・特賃住宅・地優賃住宅)	19,550,800円	19,431,000円	0円	119,800円	99.38%
	(全住宅駐車場)	407,000円	407,000円	0円	0円	100.00%
財産収入	(教員住宅)	5,092,600円	4,793,400円	0円	299,200円	94.12%
	(ユーアイ住宅)	19,735,700円	19,575,500円	0円	160,200円	99.18%
	(町営単独住宅)	4,046,400円	3,856,000円	0円	190,400円	95.29%
過年度収入		2,866,800円	637,400円	0円	2,229,400円	22.23%
計		51,699,300円	48,700,300円	0円	2,999,000円	94.19%

※家賃徴収

滞納対策については、家賃だけでなく町税等の滞納も絡んでいるケースが多く他係と連携して取り組んでいる。滞納者とは積極的に折衝し実情の把握に努め、計画的に支払えるように対策を進めている。

※住宅維持補修

令和3年度末において、環境住宅係で管理している住宅は157戸となっている。その内約80%が築20年を経過しており、老朽化に伴う維持補修や住宅環境の向上に対して入居者の要望が高まっている。これらに対応するため軽微な補修も含め76件6,462千円の維持補修を実施した。

教育委員会で管理している教職員住宅については20件797千円の維持補修を実施した。

### (2) 住宅資金貸付業務

平成23年度から南木曾町への定住の推進を図ることを目的として、南木曾町定住促進住宅資金の貸付を始め、4件分にあたる2,000千円を金融機関に預託した。本年度は貸付の実績がなかった。

### (3) 住宅建設の状況

・ユーアイ住宅

読書住吉地区に、ユーアイ住宅1棟4戸の建設を行った。(別紙詳細)

(4) 住宅改善の状況

- ・ 町営住宅和合南団地改修工事  
町営住宅和合南団地2棟4戸 (別紙詳細)
- ・ 公営住宅和合団地外壁塗装工事  
公営住宅和合団地2棟6戸 (別紙詳細)

(5) 諸申請手続き

- ・ 建築工事関係  
建築工事届 (床面積 10 m<sup>2</sup>以上) 8 件  
建築確認申請書 (延べ床面積が 500 m<sup>2</sup>など) 1 件  
建築物除却届 (床面積 10 m<sup>2</sup>以上) 8 件

(6) 木造住宅耐震改修補助事業

昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築工事を着工した、木造在来工法の一戸建て住宅が対象

- ・ 耐震診断 (国・県・町で診断料を負担) 1 件
- ・ 耐震改修・補強工事 (工事費の 1 / 2 以内で上限 100 万円を補助) 0 件

(7) 住宅リフォーム補助事業

住宅関連産業を中心とした町内経済の活性化を図り町民が快適な生活を営むことができるよう、持ち家住宅のリフォーム工事に対して補助を行った。

※30 万円以上の工事に対して、補助対象工事費の 10%、限度額 20 万円。

補助金の 30%相当額を南木曾町商品券で交付

- ・ 令和 3 年度分  
申請件数 9 件  
総事業費 19,644 千円  
補助対象工事費 13,962 千円  
補助金額 1,493 千円  
内商品券額 521 千円

別紙（事業実績）

（令和3年度実施繰越事業）

（単位：千円）

事業名	実施箇所	事業量	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
ユーアイ住宅建設事業	読書 住吉団地	1棟4戸	建設工事（繰越分）	41,492				41,492		R2から繰越 41,492千円
〃	読書 住吉団地	1式	監理業務	682					682	R2から繰越 682千円

（令和3年度実施事業）

事業名	実施箇所	事業量	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
ユーアイ住宅建設事業	読書 住吉団地	1棟4戸	建設工事（増工分）	1,694					1,694	
町営住宅改善事業 （町営住宅）	読書 町営住宅 和合南団地	2棟4戸	外壁改修工事 設計監理業務	5,606					5,606	
〃 （公営住宅）	読書 公営住宅 和合南団地	2棟6戸	外壁塗装工事 設計監理業務	3,828					3,828	

### 3. 環境関係

#### (1) ごみ処理関係

##### ①可燃ごみ

令和3年度の可燃ごみ（町収集分）排出量は426.9tで、前年度より53.8tの減少となった。

木曾クリーンセンターにおける南木曾町のごみ排出量（家庭系・事業系ごみ総量）は563.0tで、昨年度より21.6tの減少となった。木曾クリーンセンターでは可燃ごみ排出量（家庭系・事業系ごみの総量）の目標値を定め、令和3年度の実績で、木曾郡全体で339t、南木曾町では92tの減量が必要となり、木曾全体で連携してごみの減量・再資源化（3R・2R）への取り組みが必須となっている。引き続きごみの減量と分別意識の向上に努めていきたい。

##### 【可燃ごみ排出量の推移】

（単位 ごみ量：t）

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
町内収集分	474.6	458.1	488.0	480.7	426.9
ごみ排出量（家庭系+事業系）※	555.1	566.8	613.9	584.6	563.0
ごみ排出量対前年度増減	24.0	11.7	47.1	△29.3	△21.6
令和3年度排出目標値	471（家庭系+事業系）				
令和3年度排出目標値達成率	85%	83%	77%	81%	84%

※木曾クリーンセンターにおける家庭系・事業系ごみの総量（町収集分+持ち込み分）

##### ②生ごみ

令和3年度が生ごみ排出量は101.8tで、前年度より1.8tの増加となった。

木曾クリーンセンターと連携して、分別意識の向上に努めていきたい。

##### 【生ごみ排出量の推移】

（単位：t）

種 類	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
生ごみ	115.3	108.2	104.1	100.0	101.8

##### ③不燃ごみ

令和3年度の不燃ごみ排出量は41.0tで、前年度より9.3tの減少となった。

集団回収や再資源化分別収集の排出量が減少しており全体的に排出量が減少したものと思われる。

##### 【不燃ごみ（金物類・ガラス類）収集量の推移】

（単位：t）

種 類	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
金物類	18.4	19.3	20.2	22.3	22.0
ガラス類	20.6	20.8	22.9	28.0	19.0
合 計	39.0	40.1	43.1	50.3	41.0

##### ④資源ごみ

資源びん・ペットボトル・発泡スチロール、蛍光管、プラスチック製容器包装、ダンボール、雑誌・雑がみ、古着類を行政回収で、新聞、アルミ缶、牛乳パック、ビールびん等をこども園保護者会、小・中学校PTA等の集団回収で実施している。

資源集団回収の実績に応じて4団体に「南木曾町資源集団回収事業奨励金」を交付した。

○行政回収

【資源ごみ排出量の推移】

(単位：t)

種 類	29年度	30年度	元年度	2 年度	3 年度
ダンボール	80.5	84.8	83.6	82.3	71.2
雑誌・雑がみ	29.0	30.7	28.1	26.4	25.9
資源びん	30.5	27.7	27.0	25.2	23.5
ペットボトル	11.2	11.5	11.5	10.4	10.4
発泡スチロール	2.7	2.8	2.7	2.5	2.3
プラスチック製容器包装	31.0	28.3	30.5	26.3	29.1
古着・古布	7.0	7.2	7.5	10.1	9.2
合 計	191.9	193.0	188.2	183.2	171.6

○資源集団回収

実施団体：南木曾小PTA・南木曾中PTA・田立子どもと歩む会・ひだまり工房

【集団回収量と奨励金交付額】

(単位 回収量：kg、ビン類：本、交付額：円)

種 類	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	回収量	奨励金 交付額	回収量	奨励金 交付額	回収量	奨励金 交付額	
紙 類	新聞	72,160	216,480	60,100	180,300	58,900	176,700
	雑誌類	65,720	262,880	66,130	264,520	48,460	193,840
	ダンボール	16,760	50,280	14,140	42,420	16,080	48,240
牛乳パック	1,250	3,750	1,440	4,320	1,280	3,840	
アルミ缶	4,496	13,488	5,030	15,090	4,380	13,140	
ビン類(本)	377	76	336	67	456	90	
合 計		546,954		506,717		435,850	

⑤南木曾町資源ごみストックヤードについて

資源ごみ(資源びん、ペットボトル、発泡スチロール、蛍光管、ダンボール、雑誌・雑がみ等)の受け入れを、毎週水・土曜日の午前8時30分から12時まで業務委託により実施している。

平成26年度から布団の受入れ(有料(130円/10kg H27.10.1料金改定))を毎週水・土曜日の午前8時30分から12時まで業務委託により実施している。

・令和3年度布団受入実績 158件 6,530kg(前年度比△36件 △1,420kg)

(2) 環境美化関係

南木曾町美しいまちづくり条例の規定に基づく環境美化の日に、南木曾町衛生自治会が中心となり町内一斉清掃を実施した。

①南木曾町衛生自治会

【令和3年度活動状況】

活 動	回数等	場 所	内 容
総会	0回		5月10日 書面決議 承認55名
役員会	3回	役場	4月9日、9月6日、3月7日
町内一斉清掃	2回	町内	4月18日(可燃ごみ 170kg 不燃ごみ 170kg) 9月26日(可燃ごみ 40kg 不燃ごみ 40kg)
委員研修	0回		コロナウイルス感染症予防の為、中止
町の事業への協力	随時	町内	環境衛生事業への協力、容器包装廃棄物(資源びん・ペットボトル・発泡スチロール等)の分別収集の推進協力等

②ポイ捨て防止監視パトロール事業

「ポイ捨て防止監視パトロール事業」として、前期4名、後期4名へ委託し、国道19号・256号のパーキングを中心とした不法投棄防止啓発活動とごみ拾いを実施した。

依然として不法投棄ごみは多く、最近では汚物の投棄も目立っている。関係機関等への協力を求めながら不法投棄防止の啓発を図る必要がある。

【ポイ捨て監視パトロールごみ回収状況】 (単位:個)

回収品目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
缶類	4,490	4,067	3,813
びん類	375	259	151
ペットボトル	5,409	4,892	5,341
可燃ごみ	176	177	123

※可燃ごみは町指定の可燃ごみ指定袋(50L)での回収数量

【ポイ捨て監視パトロール出動日数・延人数・延時間】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
出動日数	233日	223日	222日
延人数	461人	446人	448人
延時間	1,351H	1,396H	1,344H

③不法投棄防止関係

町が加入する木曽地域廃棄物不法投棄防止対策協議会による、「道の駅大桑」でのポイ捨て防止啓発活動に毎年参加しているが、新型コロナウイルス感染症予防の為中止となった。

また、木曽地域廃棄物不法投棄防止対策協議会との合同で、廃棄物不法投棄防止パトロールを実施しているが、新型コロナウイルス感染症予防の為中止となった。

(3) し尿・火葬関係

①し尿関係

【し尿排出量・処理量等】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
汲取り量	695K L	694K L	639K L
汲取り手数料	8,158千円	8,208千円	7,610千円
浄化槽汚泥量	3,315K L	3,373K L	3,825K L
浄化槽清掃手数料	36,419千円	38,024千円	41,762千円

②火葬関係(緑聖苑)

【火葬場使用件数等】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
火葬場使用件数	32件	32件	41件
火葬場使用料	502千円	512千円	661千円
霊柩車使用件数	32件	32件	41件
霊柩車使用料	903千円	900千円	1,177千円

(4) 墓地の許可関係(届け出数)

①墓地	経営許可: 2件	廃止許可: 10件	改葬許可: 10件
②納骨堂	経営許可: 0件	廃止許可: 0件	

(5) 霊園分譲関係 (神戸霊園)

未分譲区画	2区画 (3年度分譲実績0件)
返還	2区画
使用権譲渡	2区画
年度末未分譲区画	4区画

(6) 飼犬登録関係

【飼犬登録数と狂犬病予防注射実施状況】

年度当初 畜犬登録数	281頭	年度内注射済頭数 (前住地接種含む) ※1	268頭
死亡等抹消頭数	25頭	未接種頭数※2	13頭
新規登録数	18頭	新規登録手数料 (@3,000×18頭)	54,000円
転入登録数	2頭	注射済証交付手数料 (@550×266頭)	146,300円
年度末 畜犬登録数	276頭	鑑札再交付手数料 (@1,600×0頭)	0円
		計	200,300円

※1 注射済頭数内訳 集合春：204頭、集合秋：21頭、訪問：8頭、来院：33頭  
転入：2頭 (年度内前住所地接種済) 計268頭

※2 未接種頭数内訳 老病等：3頭、不詳：10頭 計13頭

(7) 再生可能エネルギー関係

「南木曾町環境基本条例」及び「南木曾町の自然環境等と再生可能エネルギー設備設置事業との調和に関する条例」の制定により、一定規模 (事業区域面積500㎡) 以上の再生可能エネルギー施設の設置を計画する事業者は、地元への説明会実施後、町への協議が必要。

件数 法人 1件 (田立地区1件)  
個人 0件

(8) 地球温暖化対策関係事業

国が進める地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE (賢い選択)」に賛同し、省エネや行動など温暖化対策に資する選択を一人ひとりができるところから取り組んでもらうことを目的に、パンフレットの窓口掲示による普及啓発を実施した。

(9) リニア関係

◎リニア中央新幹線事業による環境への影響を明らかにするための周辺環境の現況調査の実施

① 長野県移動コンテナ局による大気観測の実施

測定期間	実施地区	測定場所
R3.3.18～R4.3.14 (1年間)	蘭地区	バス停「木曾路館前」付近

② 長野県大気環境測定車による大気観測の実施

測定期間	実施地区	測定場所
R3.6.14～R3.7.15 (30日間)	妻籠地区	妻籠クリーンセンター

③ 水質、水量等の独自調査の実施 (町独自調査として水文調査を実施した)

事業名	調査期間	実施箇所	実施回数	事業費	委託先
南木曾町 水文調査業務	R3.4.1～ R4.3.17	河川 5カ所 井戸 1カ所	12回	871,200円	一般財団法人 中部公衆医学研究所

#### 4. 上下水道関係事業

##### (1) 簡易給水施設関係

###### ①簡易給水施設整備助成（事業費の90%）

（単位：円）

	水道組合名	補助内容	補助金額
1	大妻籠 上の平水道	配水管漏水修理	82,000
2	夏焼水道	管理道修繕	143,000
3	柿平水道	配水池内仕切弁交換、水源配水管修繕	417,000
4	大高取水道	取水配水管修繕	185,000
5	胡桃田水道	施設改良、ろ過装置用ろ過速度計修繕	273,000
6	向田水道	水源崩落土除去（災害復旧のため100%補助）	351,750
合 計			1,451,750

###### ②簡易給水施設水質検査

町内17ヶ所の地区水道施設の水質検査を年2回実施し、結果により指導を行った。

※1回分（129,030円）については町が負担を行っている。

検査機関（財）中部公衆医学研究所

胡桃田水道の水源取水施設設置工事に伴う原水の水質調査を行った。（140,030円）

###### \*小規模水道 人口・戸数一覧表

（令和4年3月31日現在）

（小規模水道：簡易給水施設、飲料水供給施設の総称）

No.	水道名	種別	地区	住民リスト		水源	
				戸数	人口	名称等	種別
1	向田水道	簡易給水施設	与川一区	4	8	ささら沢	表流水
2	柿平水道	飲料水供給施設	与川一区	15	45	干沢（ひざわ）	表流水
3	南野水道	簡易給水施設	与川三区	5	18	殿沢	表流水
4	小川野平水道	簡易給水施設	与川三区	8	18	カツラ洞	表流水
5	胡桃田水道	飲料水供給施設	上の原・与川三区	23	48	沼洞	表流水
6	坂本平水道	簡易給水施設	与川五区	6	19	久保洞	湧水
7	学校平水道	簡易給水施設	与川五区	4	9	大沢の支流	湧水
8	川合平水道	簡易給水施設	与川四区	10	27	ナシノキ沢	表流水
9	十二兼水道（上）	飲料水供給施設	十二兼	26	64	田ノ沢	湧水
10	十二兼水道（下）	飲料水供給施設	十二兼			熊ノ沢	表流水
11	前の畑水道	簡易給水施設	岩倉	6	24	新山沢	湧水
12	金知屋水道	簡易給水施設	金知屋	5	13	日陰洞	表流水
13	上の原下の平水道	簡易給水施設	上の原	11	22	倉洞	湧水
14	上の原下6戸水道	簡易給水施設	上の原	5	21	白島沢	湧水
15	大妻籠上の平水道	簡易給水施設	大妻籠	5	11	井戸沢	表流水
16	大高取水道	簡易給水施設	上在郷	5	15	大明神沢	表流水
17	三軒家水道	簡易給水施設	上在郷	3	5	水上沢	表流水
18	夏焼水道	簡易給水施設	幸助	4	7	夏焼（大土地）沢の支流	表流水
	<del>富貴畑水道</del>	<del>簡易給水施設</del>	<del>富貴畑</del>	<del>0</del>	<del>0</del>	<del>カンツ洞</del>	<del>表流水</del>
合 計				145	374		

※富貴畑水道は、住民不在となったため減となった。

※個人水道（簡易給水区域内を除く） 26戸・52名

③小規模水道現況・人口調査

小規模水道の実態を把握するため、本年も各小規模水道組合を対象とした現況・人口調査を行い水源や施設の状況、運営状況の詳細を調査した（17組合中17組合より回答）。

④令和2年度胡桃田水道取水施設設置工事（令和2年度繰越事業）

工事費 17,050,000円（請負者：(株)名工土木）

(2) 下水処理関係

合併処理浄化槽設置補助事業については、令和3年度の設置実績なし。

①合併処理浄化槽設置整備補助実績内訳

(単位：千円)

補助金額	左記の財源内訳			備 考
	国庫支出金	県支出金	一般財源	
0	0	0	0	設置補助金

②人槽別設置補助金額

(単位：円)

人 槽 の 区 分	補 助 金 額
5人槽	332,000
6～7人槽	414,000
8～10人槽	548,000
11～20人槽	939,000
21人槽以上	1,472,000

③排水設備改造資金関係

※令和2年度末をもって、南木曾町排水設備改造資金貸付業務終了

簡易給水施設整備助成（事業費の90%）

水道組合名	修繕内容	補助額
大妻籠上の平水道	配水管漏水修理	82,000
胡桃田水道	施設改良	254,000
夏焼水道	管理道路修繕	143,000
柿平水道	配水池内仕切弁交換修繕	297,000
柿平水道	及び水源配水管工事	120,000
大高取組合	取水配水管修繕	185,000
胡桃田水道	ろ過装置用ろ過速度計修繕	19,000
向田水道	水源崩落土除去（災害復旧工事）	52,000
向田水道	水源崩落土除去（災害復旧工事）	299,750
合計		1,451,750

